

実践報告資料

研究テーマ 『「他者理解につながる人権教育の充実」

～多様な価値観を認め合い、ともに生きる～ 』

研究内容 【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名 (豊岡市立城崎小学校)

<p>ア 人権教育としてのねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての児童が自分自身を肯定的に受け入れ、自己実現を図るための土台となる力を育成する。 ・ 自分と他者の「違い」を理解することを通して、多様な個性や価値観を認め合う素地を養う。 ・ すべての児童が多様な個性や価値観をもつ仲間として、ともに生きていくための資質を育成する。 				
<p>イ 研究の概要</p> <p>人権教育資料を効果的に活用し、自他の「違い」や多様な個性を理解させるとともに、多文化共生の態度を養うことができる授業づくりを行う。また、豊岡市人権教育推進協議会城崎支部（地域・城崎こども園・城崎中学校）等、学校間をはじめ、関係機関とのさらなる連携を強化し、研修の質的向上をめざす。</p>				
教科等	各教科（家庭科）	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
指導者	家庭科担当・推進委員	6年担任、推進委員	人権擁護委員 5年担任・推進教員	3年担任、推進教員
実施日	12月13日	11月1日	12月4日	7月17日
取組名	ご飯とみそ汁を作っ て食べよう	仲良くなるために大切 なことを考えよう	スマホケータイから 学ぶ人権教室	友だちと〇〇を合わ せよう
目 標	食事の必要性を理解し、協力して調理をしよう。	外国にルーツをもつ人との出会いと交流を通して、自他の違いを認め合う態度や豊かな人間関係を築くための態度、技能を身に付ける。	人権週間に合わせて、自分や相手の人権を大切にしたい言葉を使おうとする態度を養う。	「息」や「心」などを合わせる活動を通して、他者を理解しようとする態度を養う。
資料名	食べて元気に『わたしたちの家庭科』（開隆堂）	「外国からの友だち」『ほほえみ』（県教育委員会）	「言葉を大切にしたい伝え方」自作資料	「仲間と心を合わせよう」学級活動
指導内容や指導方法の工夫等	みそ汁とご飯を班で協力して作る実習を通して、男女で役割を分けるのではなく、相談して役割を決め、協力して作業していくことの大切さを知る。 また、毎日の生活を元気に送るために、食事・運動・休養が誰にとっても大切なものであることを理解する。	挿絵、掲示物を示しながら、物語の内容を押さえる。 主人公の先入観をとらえさせ、相手を理解しようとする気持ちが芽生えたことに気付かせる。 児童の発言をもとに、外国にルーツをもつ人と仲良くなるために大切なことは何かを考えさせる。	スマホ・ネットでのコミュニケーションのとり方と注意点を理解する。また、使いすぎに対する注意点を理解し、対策を考える。 また、実際に対面で話すことの良さ・大切さを再確認する。そして、困ったときには、一人で悩まず相談することやその方法を知る。	「〇〇を合わせよう」というめあてを示す。 人間時計、フラフープリレー等の活動を行う。活動ごとにふり返りを行い、何を合わせたのか問いかけ、めあてに照らし合わせる。 ふり返りを行うとともにこれからの活動にも生かせる意見を共有させ合う。